

デジカメ写真アルバム

フォトマスターⅡ Pro





Ver3.03 の新機能



■フォトマスターⅡPro の新機能について

1. 新機能一覧(ver3.03)

Ver3.01→Ver3.03 では、新たに以下の新機能を追加しました。

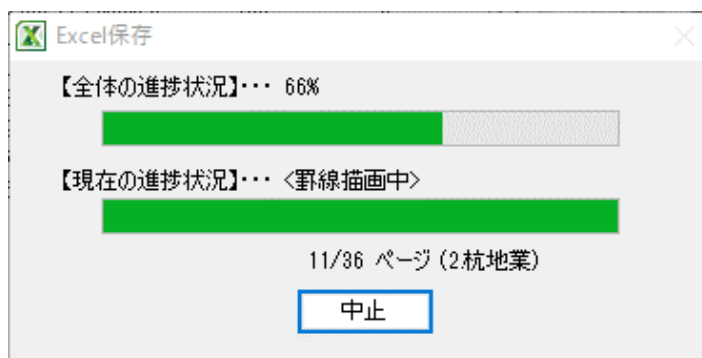
- ・  Excel 保存の高速化、安定性向上
- ・  おまかせ自動レベル補正機能の追加
- ・  アンドウ・リドゥ機能の追加(アルバム欄)
- ・  「1つ上の階層に移動」機能の追加(サムネイル欄)

1-1. Excel 保存の高速化、安定性向上

Ver 3.03 では、アルバムの Excel 保存の高速化(短縮化)と安定性の向上をはかりました。
保存時間は、これまでより概ね 30%~50%前後短縮されます。

また、写真の貼付け失敗などが起きにくい仕様に改良いたしました。

また、保存中の進捗度を示すプログレスバーを、下図のように処理毎の進捗度と全体の進捗度を併せて表示することで、進捗度を把握しやすくしました。



Excel 保存時のプログレスバー

1-2. おまかせ自動レベル補正機能の追加

1) 概要

「おまかせ自動レベル補正機能」とは、大量の写真から下図のような「黒潰れ」や「白とび」写真を自動判定し、補正が必要な写真のみにレベル(明暗)補正を実施する機能です。



黒潰れ写真の補正例



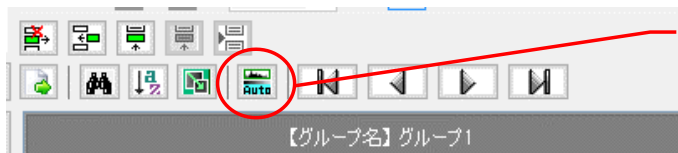
白とび写真の補正例

2) おまかせ自動レベル補正の実行

「おまかせ自動レベル補正」は、サムネイル欄とアルバム欄の写真に対しておこなうことができます。各欄の上部にあるツールバー(下記)をクリックして実行してください。



サムネイル欄の「おまかせ自動レベル補正」コマンド



アルバム欄の「おまかせ自動レベル補正」コマンド

「おまかせ自動レベル補正」の実行ボタン

3) おまかせ自動レベル補正ウィザード

コマンドを実行すると、「おまかせ自動レベル補正ウィザード」画面が表示されます。補正したい写真と補正方法を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。

なお補正方法は通常、「標準補正」を選択し、「簡易補正」は、できるだけ写真の補正をしたくない場合に選択して下さい)

①補正対象写真を選択します。

おまかせ自動レベル補正ウィザード

本機能は、下記のような「黒潰れ」や「白とび」写真を自動判定し、補正が必要な写真に対してのみレベル補正(明暗補正)をおこなうものです。
それでは下記より補正の対象写真を選択し、「次へ(写真解析)」ボタンを押して下さい。

補正対象写真の選択

☒ 選択写真のみ(1枚)

☐ 現在のフォルダ内の全画像(55枚)
(注)サブフォルダは含みません

補正方法の選択

☐ 簡易補正... 黒つぶれ(白とび)が軽度な写真は補正しない。(最小限の補正)

☒ 標準補正... 「僅かでも黒つぶれ(白とび)している写真は補正する。」

自動補正例

【黒つぶれ補正例】

(補正前)

(補正後)

【白とび補正例】

(補正前)

(補正後)

注)本機能は、補正が必要な写真のみを自動判定して補正します。(対象写真すべてを補正するわけではありません)

✖ 閉じる

✔ 次へ(写真解析)

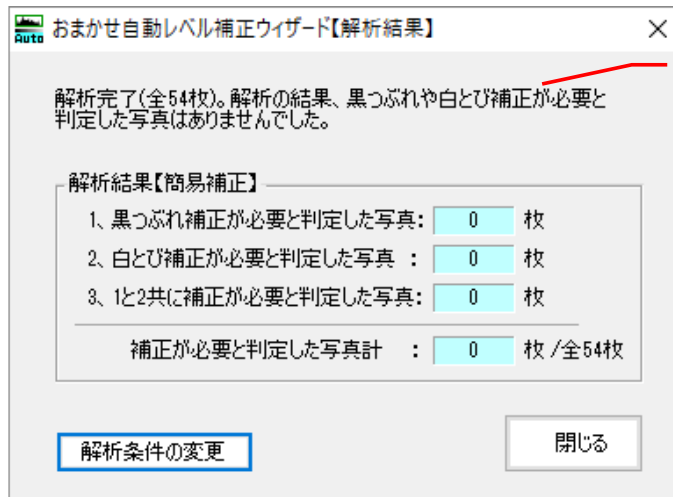
②補正方法を2種類から選択できます。
最小限の補正に留めたい場合は「簡易補正」を、幅広く補正したい場合は「標準補正」を選択して下さい。

③設定が完了したら、「次へ」ボタンを押して下さい。対象写真を写真解析して、黒潰れや白とびの有無を調べ、解析結果を表示します。

4) 解析結果の表示

a) 補正が必要と判定された写真がなかった場合

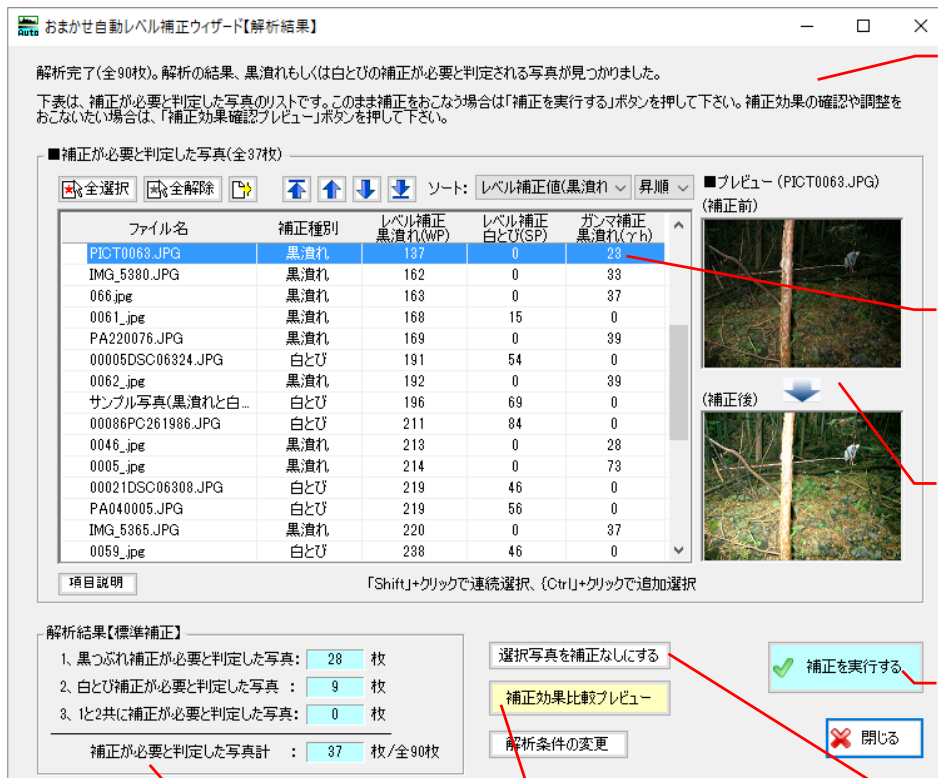
自動解析の結果、補正が必要な写真がなかった場合は、下図の解析結果が表示されます。この場合は補正が必要ありませんので、「閉じる」ボタンを押し作業を終了して下さい。



写真を解析した結果、補正が必要と判定された写真が無かった場合は、このような画面が表示されます。この場合は、「閉じる」を押して作業を終了して下さい。

a) 補正が必要と判定された写真が1枚以上あった場合

自動解析の結果、補正が必要な写真があった場合は、下図の解析結果が表示されます。画面左側に、補正が必要な写真のリストを、黒潰れの程度が大きい順に表示しています。そしてその右側には、選択した写真の補正前と補正後のプレビュー写真を上下に表示しています。



写真を解析した結果、補正が必要な写真があった場合は、このような画面が表示されます。(この時点ではまだ補正は実行されていません。)写真毎の補正状況等をご確認いただき、問題なければ「補正を実行する」ボタンを押して補正を開始して下さい。

補正が必要な写真を、黒つぶりの度合いが大きい順にリスト表示します。(ソート順は変更可)

リスト内の選択写真をプレビューを表示します。上方が補正前、下方が補正後の写真です。このように補正前後の状況を確認することができます。

このボタンを押すと、補正が実行されます。

リスト内の選択写真を補正なしにすることができます。

補正種類ごとの写真枚数が表示されます。

選択写真の補正効果の確認と補正値の調整をおこなうための比較プレビュー画面を表示します。

補正写真リストとプレビューから写真毎の補正状況を確認し、問題なければ「補正を実行する」ボタンを押して補正を開始して下さい。

なお「補正を実行する」ボタンを押すと、下記の「オリジナル写真の保存」画面が表示されます。もし、補正前のオリジナル写真を別フォルダに残しておきたい場合は、このチェックをオンにしてください。そして、「格納フォルダ名」を設定したうえで、「補正実行」ボタンを押して下さい。



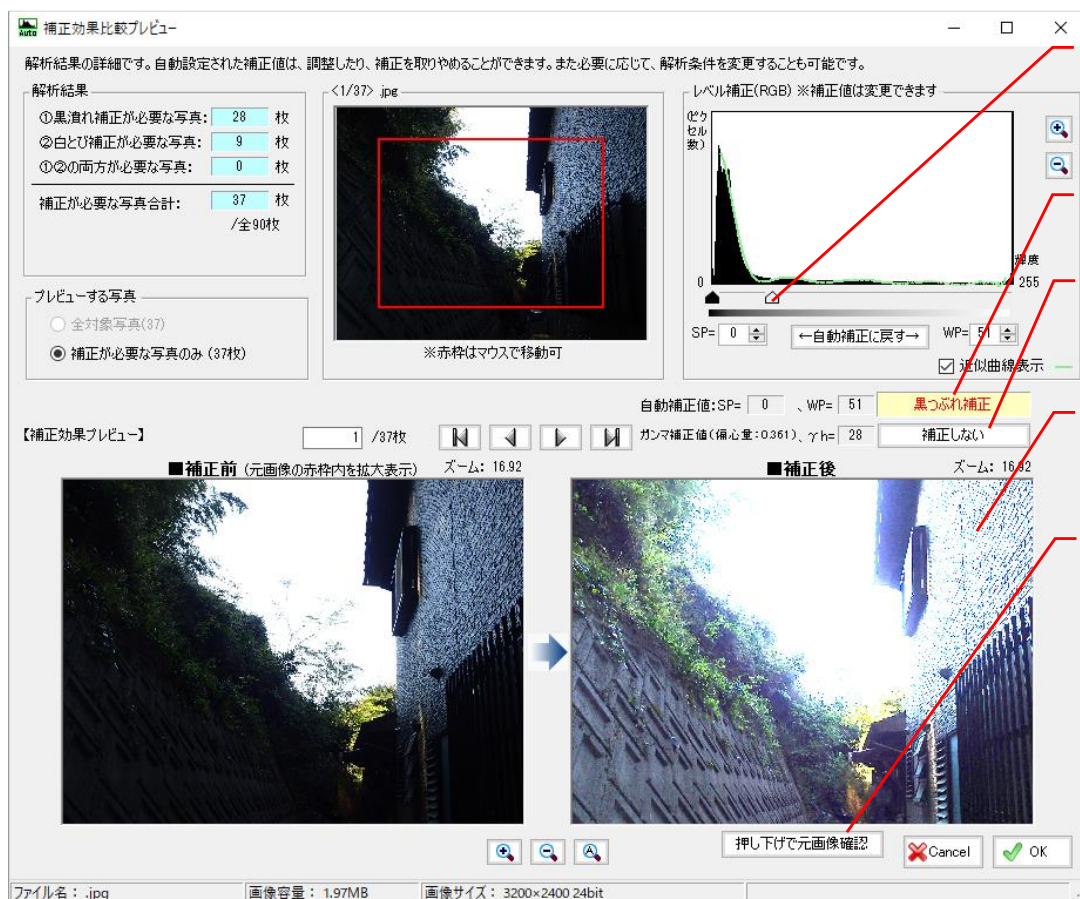
「補正を実行する」ボタンを押すと、この「オリジナル写真の保存」画面が表示されます。

補正した写真は、基本的に上書き保存されますが、もし補正前のオリジナル写真を別フォルダに残しておきたい場合は、このチェックをオンにしてください。そして、「格納フォルダ名」を設定したうえで、「補正実行」ボタンを押して下さい。

5) 補正効果比較プレビュー

前頁の「おまかせ自動レベル補正ウィザード(解析結果)」画面にある「補正効果比較プレビュー」ボタンについてご説明致します。

「補正効果比較プレビュー」ボタンを押すと、下記画面が表示されます。この画面では、補正が必要と判定された写真毎に、補正効果を詳しく確認したり、必要に応じて補正値を調整することができます。



自動設定された補正値は、このスライダーを左右に動かすことで、必要に応じて手動調整することができます。

補正種別を表示しています。

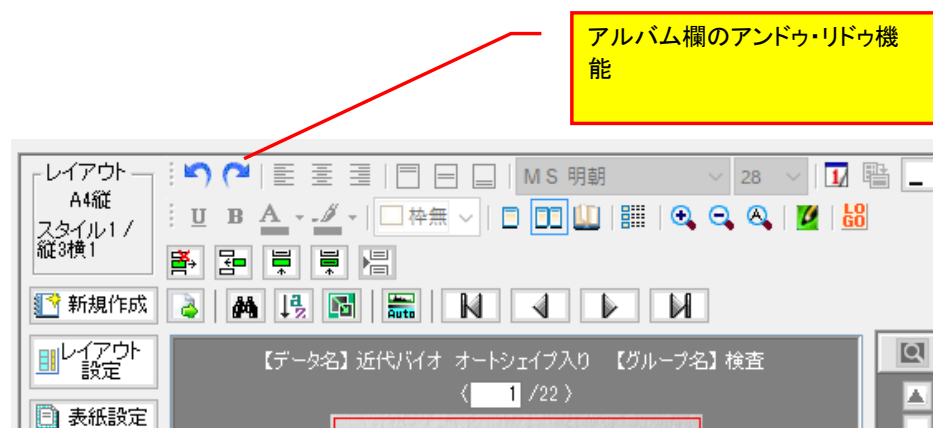
補正したくない場合は、この「補正しない」ボタンを押すことで、「補正なし」に変更することが可能です。

マウススクロールで、拡大/縮小表示が可能です。

このボタンを押し下げている間のみ、画像が「補正前」の状態になります。比較確認用です。

1-3. アンドゥ・リドゥ機能

アルバム欄に、アンドゥ・リドゥ機能を追加しました。アルバム欄の編集等の操作に対して、やり直し等の操作が可能になります。



1-4. 1つ上の階層に移動」機能の追加(サムネイル欄)

サムネイル欄において、1つ上の階層フォルダに移動し、そのフォルダ内を表示する機能を追加しました。

